



終戦70年。いろいろ知っていたつもりでしたが、あたらしい事実を知らされ、無知であったことに驚くとともに事実を伝える責任を感じた8月でした。

京都の教え子より迷走15号台風来襲の心配見舞いの便りあり。
荒尾上陸との情報でさらに教え子から安堵の連絡あり。
せっかくなら気象庁は荒尾・大牟田上陸とってほしかったな……。
久しぶりに台風の目の中に入り無風状態。
荒尾のジャンボ梨は心配ですが大牟田は被害も少なく一安心でした。

第218回ギャラリー展は、「くもをつかむ」絵画展を開催します。
油彩・版画など9点展示いたします。

福岡・熊本・佐賀・大分など九州出身の画家の作品展です
作品は現代絵画といわれる抽象作品をそろえました。
抽象絵画は一般的に何を描こうとしているのかわからないというのが定説です。

絵画には具象・抽象とわかる習慣がありますが絵画は描きたい人とそれを鑑賞したい人との会話です。
作品に対して感じるのは描き手側と鑑賞する側、それぞれの感受性によって変わります。その感受性は生活環境によっても変わると思われます。
まさに「くもをつかむ」ようなことでしょう。

夏休みも終わり晴天の日々が期待される秋へと季節は移ります。
心身ともにリフレッシュ。鑑賞していただければ幸いです。